



## 森と人間のおいしい関係で アマゾンの未来を創る

アルコイリスによる「キズナ農場プロジェクト」。  
ペルーアマゾンの森を再生する“アグロフォレストリー”の取り組みは  
12年が経ち、その成果が実りつつあります。  
森を創ることで見えてきた豊かな未来とは？

写真/齋藤僚子(イベント) 写真提供/NPOアルコイリス 取材・文/本田賢一郎

インカイインチで持続可能な成長

ペルーのスーパーフード「インカイインチ」は、オメガ3脂肪酸(αリノレン酸)が約50%を占め、その種子を低温で圧搾したインカイインチ油はエクストラヴァージンオリーブ油やえごま油、アマニ油の約2.5倍もの抗酸化力があることで知られています。油を搾った後の残りかすであるおから状の「トルタ」は消化吸収性に優れた良質なタンパク質を多く含み、アミノ酸バランスに優れています。ペルーでは古来より食材としてだけでなく肌に直接塗り、美容にも役立てられていたとか。このインカイインチの生産を通じてペルー中央部のウカヤリ州カンポベルデで熱帯雨林の保全を目指しているのがNPO法人アルコイリス。現地のNGOや企業、大学と連携してアマゾンの森林を再生しインカイインチやカカオをはじめとする農産物で経済的価値を創出、持続可能な成長を目指す「キズナ農場プロジェクト」に取り組んでいます。昨年10月、12年にわたる活動を紹介したポップアップイベント「アマゾンの創作キッチン」を開催。JICA(国際協力機構)の専門家としてプロジェクトに参加し、ペルーでの活動を継続的に取り組んでいる料理研究家の按田優子さんによるインカイインチの創作料理や飲み物を楽しみながら、知られざるアマゾンについて知る貴重な機会となりました。



左から／獣医でもあり日本で鍼灸も学んだ橘谷エルナンさん、「按田餃子」を営む料理研究家・按田優子さん、インカの伝統食を通してQOL(生活の質)向上を提案する「NPOアルコイリス」代表・大橋則久さん。



インカインチプロテインを使用したアマゾン甘酒やインカせんべいなどのインカの伝統に根差した創作料理。

## 自然の循環を取り戻す

「キズナ農場プロジェクト」の主宰者であるペルー在住の、橘谷エルナンさんによるとペルーは世界4位の熱帯雨林面積を有し、地球上に存在する117の生態系のうち84が観察できるほど豊かな自然・生物の多様性を有するといえます。しかし、その多様性の源であるアマゾンが開発による伐採などで2000年代に入って約280万haも消失、現在も毎年サツカーグラウンドの1.5倍もの面積のアマゾンが消えている危機的状況。アマゾンの持続可能な開発モデルを提示するため2012年に牧草地だった場所に樹木とインカインチを一緒に植え、植物・生態系の相互作用によって森林機能を回復させる方法「アグロフォレストリー(森林農法)」に着手。草取りから始めて12年、育った高木が直射日光や強い雨風から若い木を守り、森林の根が張ることにより土壌侵食を防いで雨水の浸透能も高まっています。木の根を通じて土壌深くまで栄養成分がゆき渡る「人間と自然が共生する里山のようなサイクル」が出来つつあり、落ちた葉は雑草の生長を抑制し土の養分となり、最近ではきのこや果実など土地にもともと存在しなかった種が育つ2次林の恩恵も出てきています。アルコイリス代表の大橋則久さんは「森が育ち、ようやくスタート地点に立てた。土地に負荷を与えることなく栽培したインカインチを始めとするペルーの植物資源を世界中に広めたい」と話します。

## 森が生き返り人が救われる

印象的だったのはパンデミック直前の2020年2月頃に按田さんが現地入りした時のお話。到着直後に移動禁止令が発令されたことでキズナ農場に数ヶ月間取り残される状況に。「森が育っていないかったら、物資も届かず食べ物もないなか私たちは生きることが出来なかつたでしょう。森に救われました」(按田さん)。実をつけ始めていた植物が文字通り糧となり九死に一生を得たといえます。毎日見つける植物でレシピを試せたのは幸運という按田さんに対して、その「無茶ぶり」が大変だったと笑う橘谷さん。人間の手を入れすぎるのは勿論、入れなさすぎてもいけない自然。そこに人の知恵と手が介在することで、アマゾンの森は食糧庫になり、時に薬箱にも変わることを体験を通じ学ぶ。キズナ農場プロジェクトを通して自然に人間が適切に手を入れることで自然がよみがえり、大いなる恵みもたらされることがわかります。



森が育っても近隣で焼畑農業が行われたことで火が燃え移り火事になってしまったり、せっかく育てた農作物の盗難など困難は未だつきないそうです。写真左／ウングラウィ(ヤシの一種)やパパイアなどを収穫しジュースを作ったり、肉を焼くために土窯を作ったりと按田優子さんは旺盛な好奇心でアマゾンメニューを創作。